短大だより

〔発行〕
東北女子短期大学
弘前市上瓦ヶ町25
TEL ㉜ 6151
〔印刷所〕
有限会社新和印刷

学長就任にあたって

東北女子短期大学長
今村吉彦

平成24年度の学校基本調査によりますと全国の国公私立短期大学372校のうち、350校が私立の短期大学であり、全体の約94％を占めています。短期大学は地域社会に密着した教育活動を展開し、多様な人材の育成を行っていますが、その分野は家政系統の分野、教育分野、保育・介護等の分野など多岐にわたっています。

私たち東北女子短期大学も私立短大ですので、私学の独自性である建学の精神のもと、地域社会の活性化と発展のために日々力を尽くしています。

そして近年、地域自治体や地域社会は、地域の大学と連携し、その知的資源をより積極的に活用することを強く望むようになってきています。

その理由を簡単に記せば、グローバル社会や成熟社会において多種・多様な要請に応えられる即戦力的な人材が必要になってきたことと、日本の生産年齢人口が大きく減少しており、このままの状態で推移すると大規模な人出不足時代が到来してしまうことにあるからだと思われます。

経済分野での議論の中に、よく日本の景気は果して良いのか悪いのかという議論があります。労働者ひとり当たりのGDPは世界第一位の経済大国であるアメリカと比較しても昔とそんなに変わっていないとか、平均給与所得が年々悪化しているとか、賛否両論さまざまです。ただ、ひとつ間違いないのは、生産年齢人口が減っていくということは、経済全体のサイズが縮まっていくということです。地域社会にとっては労働者の減少と経済の縮小は非常に深刻な問題となっていると思われます。

皆さんは、今まさにそういった問題を抱えながら、地域社会の再生と活性化に向けての力強い取り組みが始まった中で将来の方針を固めていかなければなりません。就職活動の開始時期についても、全国的には活動の早期化・長期化の是正が図られるなど、今までなかった動きが随所に表れています。皆さんは短期高等教育期間の中で、唯一の学位課程である短期大学で教養・専門教育を受け、免許・資格を取得し、新時代の要請に応え、地域社会に飛び込んでいかなければなりません。

より充実した未来のために勉強に励み、人格形成を行ってもらいたいと思っています。

希望を胸に入学式

東北女子短期大学、東北栄養専門学校、東北コンピュータ専門学校3校合同の入学式が4月8日に弘前文化センターで行われ、新入生あわせて238名が学生生活の第一歩を踏み出しました。

式では新入生が紹介されたあと、短大生活科1年坂倉奈緒子さんが、「本学の学則、諸規定を守り、伝統に輝く本学学生としての本分を全うします」と力強く宣誓しました。

次に短大学長及び二つの専門学校長を兼ねる今村吉彦学長が、「伝統ある学びの門をくぐって、有意義な2年間を送って下さい」と励ましました。

その後、新入生に関係する各校の教授・教諭の紹介があり、最後に短大保育科2年生が校歌合唱で新入生を迎え、厳粛に式は終了しました。

学園創立90周年 記念式典・記念講演行われる

柴田学園は大正12年柴田やす先生によって創立され、今年90周年を迎えました。

学園創立記念日の5月14日には青森県武道館において式典が行われ、東北女子大学、東北女子短期大学、東北栄養専門学校、東北コンピュータ専門学校、柴田女子高等学校の学生、生徒、教職員あわせて約千四百人が出席しました。今村吉彦理事長は「90周年の歴史を彩る一人として伝統を守り、夢や目標の実現に向かって努力して下さい」と述べました。

その後一戸智之女子大学准教授のピアノによる祝奏があり、続いて東北女子大学教授加藤秀夫先生による「時間栄養学と食育から県民の健康を探る」と題した講演がありました。

最後に女子大学4年佐々木華奈さんが学生を代表してお礼を述べ、全員で校歌を合唱し式典を終了しました。

節目の年を祝い、更なる発展を誓った日となりました。

資格の新設・廃止

○保育科

認定ベビーシッター資格

保育科では、新たに25年度入学生より**「認定ベビーシッター資格」**が取得可能になりました。保育士資格取得に必要な科目に加え「在宅保育」を履修することで取得できます。

核家族化が進み柔軟できめ細やかな保育のかたちが求められるようになり、在宅保育のニーズは今後一層高まるものと思います。

保育所の集団保育に対応した学びに個別在宅保育の学びがプラスされることで、更に保育力アップが期待できます。

○生活科

生活科の「介護員二級」研修は平成12年度スタートし、これまで328名が研修を修了しましたが、24年度入学生（29名）で最後となります。

これは介護保険法施行規則の改正に伴い、平成25年度4月より同研修が介護職員初任者研修へと移行されたためです。今後は「高齢者と生活」という科目の中で介護についての学習を継続していきます。

学内人事

◇退職（25年3月31日付）

【所属長】

東北女子短期大学
東北栄養専門学校
東北コンピュータ専門学校
学長・校長　河西達夫

【教職員】（定年）

教授　七戸英之
教授　淺利　侑

◇就任

【所属長】

今村吉彦
東北女子短期大学長
東北栄養専門学校長
東北コンピュータ専門学校長

◇昇格

【教職員】

佐川典昭　会計課長
小山尊徳　学務課長補佐
山本　陸　専任事務職員
工藤真衣　専任事務職員

◇昇任

今村吉彦　教授
佐々木昭則　教授

異動紹介

◇異動

畑山　聡教授が女子大学から短大へ
柿崎興一教授が栄養専門学校へ

◇再雇用

七戸英之
教授・学務課長

畑山　聡　先生

（図書館長　法学担当）

趣味は音楽鑑賞と読書。「礼節を身に着けた女子教育を行っていきたいと思います」。

第51号紀要掲載論文より

青森県における行事食に関する研究

～年越しの行事食について～

青森県では、一年を通しての最大の節目を「年越し」の行事とする人が多く、大みそかには正月以上のご馳走が用意されてきた。本報では年越しの行事食の特徴や津軽、下北、南部地域における年越料理の違いを知るため、平成21年12月～平成22年5月、青森県内在住の240名（50～60歳代が57％）に対して調査を行った。結果は次のとおりである。

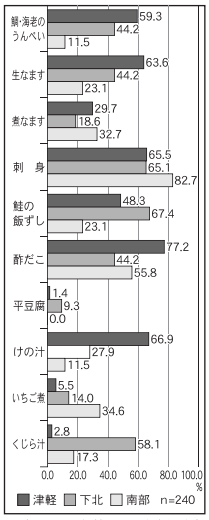
①全県共通で食されている年越しの行事食は、多いものから煮しめ、年越しそば、茶碗蒸し、数の子、なまこ、昆布巻き、子和えであり、伝統的な行事食が伝承されていた。比較的新しい食習慣としては、オードブル（盛り皿）、握りずし、かになどいずれも市販品であり、手軽に用意ができ、嗜好性の高い料理である。

②地域性のある年越料理では津軽地域は酢だこ、けの汁、生なます、鯛・海老のうんぺい、下北地域は鮭の飯ずし、くじら汁、南部地域は刺身、いちご煮であった。いずれの地域でも、汁物の地域性が高いものが特徴である（図参照）。

③調理状況では家庭で作る割合が少なくなっており、年越料理の外部化、簡便化が進んでいる様子が伺えた。

年越しの行事食は、嗜好を重視する傾向や家族構成の変化でその内容を変えてきているが、家庭で節目に食べる昔からの行事食として重要視されていた。今後どのように変化し、伝承されていくのかを引き続き調査し、伝統的な行事食の保存にも努めたいと考えている。本報は日本調理科学会特別研究から研究を進めたものである。

北山育子・澤田千晴・下山春香



地域性のある年越料理の喫食経験度

2013 公開講座

公開講座　一覧

講師	テーマ	対象	時期	時間	定員	受講料	場所
北山育子 中島里美	「おいしい津軽のおかず」をつくりましょう(2) ～旬を活かす健康メニュー～	一般 高校生	6月2日(日)	10:00 ～ 13:00	30名	300円 （食材費として）	弘前文化センター （調理実習室）
宮野洋子	ＣＧでプリント布地を作ってみませんか ～花柄編２～	一般 高校生 中学生	6月15日(土) 6月29日(土) 7月13日(土) 7月20日(土)	9:30 ～ 12:00	各回3名	無料	本学校舎 （32講義室）
中島里美	食べて確認してみましょう あなたの１日の食事量！	一般	6月28日(金)	11:30 ～ 13:00	15名	無料	本学校舎 （会議室 カフェテリア）
佐々木典彰	心理学をのぞいてみよう！	一般 高校生	7月20日(土)	13:00 ～ 14:00	20名	無料	本学校舎 （21講義室）
西　敏郎	社会学をのぞいてみよう！ ～人間関係を科学する～	一般 高校生	7月20日(土)	14:15 ～ 15:30	20名	無料	本学校舎 （21講義室）

◇ 問合せ：東北女子短期大学　公開講座係
〒036-8503　弘前市上瓦ヶ町25番地
TEL 0172-32-6151　FAX 0172-32-6153
e-mail　tibunken@toutan.ac.jp
本学ホームページ　http://www.toutan.ac.jp

申込方法

公開講座
・本学ホームページからお申込みできます。「公開講座」の欄をご覧ください。
・その他の申込方法：電話、はがき、FAXからもお申込みいただけます。
その際はいずれも①～⑤の事項をお伝えください。
（①希望講座名　②希望日　③氏名　④住所　⑤電話番号）

※各講座日の３日前までにお申し込みください。
※各講座には定員数があります。定員を満たし次第締め切りとなりますのでご注意ください。

一年生～私の抱負

免許・資格の取得

石岡美里
（生活科1年）

東北女子短期大学に入学した学生は、皆が抱負を抱えていると思いますが、私には二つの抱負があります。

一つ目は、自分の目指す免許・資格の取得です。これは、ほぼ全員が目指していることだと思いますが、私は、免許・資格の取得はゴールではないと考えています。免許・資格取得のために身に付けた知識は、その後何十年も役に立つからです。将来のため、できる限りの知識を身につけたいと考えています。

二つ目は、社会人として基礎的な能力を身に付けることです。社会人として必要な挨拶や礼儀作法を学び、当たり前のことを当たり前のようにできる人になりたいと思います。

そして、最後になりますが、私が学生として勉強できるのは、家族の支えのお蔭なので、家族への感謝を忘れず、今後の2年間を過ごしていきたいと思います。

（青森県立弘前南高校卒業）

夢は医療事務士

入学して約一か月が経ち、短大生活や寮生活に慣れてきました。新たな友人もでき、楽しい学生生活を送っています。

私は将来、医療事務士として就職するという夢があります。この夢を叶えるには、学んだことを確実に自分自身の力にするために、高校時代よりも積極的に努力することが求められているような気がしています。具体的には、予習と復習をして授業に臨み、講義のノート整理をしっかり行うことが、将来の自分の夢の実現に繋がると思うので、日々努力を続けていきたいと思います。

西舘彩花
（生活科1年）

また、様々な行事は楽しみの一つです。行事ではクラスの仲間と様々な経験をし、たくさんの思い出を作っていきたいと思います。

勉強と行事を通じて、自分が大きく成長できる2年間にしたいです。

（岩手県立金ヶ崎高校卒業）

目標が見えてきた！

石田　優
（保育科1年）

100人のクラスメイトと共に始まった大学生活。女子の中で男子はたった5人ですが、楽しい毎日を過ごしています。さまざまな講義を受ける中で、日増しに保育の仕事に対する思いが強くなってきています。

僕はピアノが苦手ですが、最初に覚えた「大きな栗の木の下で」を最後まで弾けた時はとても嬉しく、初めてピアノが楽しいと感じました。さっそく幼稚園に通う従兄弟に弾いて聞かせたところ「すごい、上手!!」とピアノに合わせて、手や体を動かしとても喜びました。この喜びを大勢の子どもたちに与えられたらと考えると、とてもやりがいのある仕事だと思います。

これから2年間、ピアノを含め、勉強や実習等において悔いが残らないよう、目標に向かって頑張っていきたいと思います。

（弘前実業高校卒業）

夢に向かって

入学してからもう一ヵ月が過ぎ、学校生活にも大分慣れてきました。初めのうちは、90分の授業に集中力が続かず苦労しましたが、今では集中して授業に取り組んでいます。

私が今から楽しみにしている「表現2」の授業は、紙芝居を作る授業です。イラストを描いたり物づくりしたりするのが好きなので、アイデアを活かして一味違ったものが作れたらいいなと思っています。

木村玲伽
（保育科1年）

入学と同時に始まった寮生活は、先輩のサポートもあり充実した毎日を送っています。家にいた頃よりも格段に自己学習にあてる時間が増え、講義の基礎として毎週行われる漢字テストでは、練習する時間を増やすことによって好成績を修めることができています。これからも継続して頑張っていきたいと思います。

勉強も行事も全力で取り組み、健康的で充実した大学生活を送りたいと思います。

（五所川原工業高校卒業）

平成26年度の入試日程が次のように決まりました

東北女子短期大学　平成26年度　入試日程

出願区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切	学費納入期間
公募推薦入学	1　期	平成25年10月25日㈮～11月13日㈬	11月16日㈯	11月25日㈪	12月 6日㈮	3月 3日㈪～3月13日㈭
	2　期	平成25年11月29日㈮～12月13日㈮	12月17日㈫	12月21日㈯	1月10日㈮	3月 3日㈪～3月13日㈭
特別推薦入学	指定校推薦入学	平成25年11月29日㈮～12月13日㈮	12月17日㈫	12月21日㈯	1月10日㈮	3月 3日㈪～3月13日㈭
	卒業生推薦入学	平成25年11月29日㈮～12月13日㈮	12月17日㈫	12月21日㈯	1月10日㈮	3月 3日㈪～3月13日㈭
試験入学	前　期	平成26年 1月16日㈭～ 2月 1日㈯	2月 5日㈬	2月12日㈬	2月26日㈬	3月 3日㈪～3月13日㈭
	後　期	平成26年 2月19日㈬～ 3月10日㈪	3月12日㈬	3月17日㈪	3月31日㈪	3月20日㈭～3月31日㈪
社会人入学	前　期	平成26年 1月16日㈭～ 2月 1日㈯	2月 5日㈬	2月12日㈬	2月26日㈬	3月 3日㈪～3月13日㈭
	後　期	平成26年 2月19日㈬～ 3月10日㈪	3月12日㈬	3月17日㈪	3月31日㈪	3月20日㈭～3月31日㈪

入学式（4/8）

弘前文化センター

オリエンテーション（4/9）

90年歌い継がれた校歌の指導

新入生歓迎会（4/10）

保育科の授業紹介
みんなで手遊びしましょう！

生活科の紹介
野菜はどんな種類に分けられる？

授業あれこれ

「マーケティングと社会」　生活科２年
サービスには何が大事ですか？

「食品衛生学」　生活科１年
食物アレルギーはなぜおこるか？

「体育(2)」　保育科２年
新聞紙を使ったいろいろな遊び

「図画工作(1)」　保育科１年
この配色はどう……。

走る！▲

跳ぶ!! ▶

「栄養学実習」　生活科２年
各自が考えた子ども用おやつを発表

学園総合体育大会（5/22）

玉入れ
150コ全部入れる気合いで！

応援合戦　～各校応援エール～
Let's　エクササイズ

二人三脚リレー
息を合わせて　右、左、右……。

長縄跳び競争
せーの！１、２、３……。

安全講習会（5/9）

腕をつかまえられたら、こんな感じで…。

避難訓練（5/29）

消火器の扱い方について

秀芝寮歓迎会（4/17）

ちょっと緊張ぎみの新入寮生

先輩たちが歓迎の気持ちを込めて…。

壮　行　式（6/4）

東北地区大学体育大会（6/28～11/3）

文化部研修会（6/9）

山の家ヴィラ柴田

1･2年ピクニック（6/20）

つがる地球村森田

2年父母会（6/22）

茶道部　学内茶会

保育科　全体会

活躍する卒業生

子どもを見れば笑顔に

平成25年保育科卒　宇　野　千　聡

私は現在1、2歳児クラスを担当しています。働いて二ケ月経ちますが、まだまだ分からないことばかりで、悩んだり疑問を抱いたり、失敗して落ち込んだり葛藤の日々です。それでも前向きに頑張れるのは、先輩保育士の存在があるからです。休憩時間に話を聞いてくれたり励ましの声をかけてくれたり、とても心強いです。

そして何より一番の支えは、子どもたちの存在です。どんなことがあっても子どもたちの姿を見れば頑張れます。また短大で同じ夢に向かって学んだ仲間、一生懸命練習したピアノ、日々の講義ノートに書き留めた先生方の想いのこもった言葉も自分を支えてくれる大切な宝物です。

これからも笑顔を絶やさず、子どもたちのために頑張っていきたいと思います。

社会福祉法人北清会
六郷保育園勤務

東海大学の学生食堂で

平成24年生活科卒　藤　原　信乃芙

私は、栄養士として東海大学の学食で食事を提供しています。安くてボリュームのあるメニューはもちろん栄養バランスのとれたもの、また、本格的なパスタや中華料理なども、先輩や上司の方から指導を受けて勉強しています。毎日、調理、事務、仕込み、洗浄、試作などで忙しい日々ですがとても自分の力になっていると実感しながら仕事をしています。

この職場で1年が経ち思うことは、短大で勉強したひとつひとつが栄養士、そして社会人としての本当の基礎だということです。実習や課題は面倒くさいと思ったこともありますが、短大では、分からないことがすぐに聞ける環境にあったのだということを、今、痛感しています。学生から社会人になり、最初は戸惑うことばかりでしたが、短大で学んだことをたくさん生かして頑張りたいと思います。

株式会社富士サービス勤務

言葉遣いと笑顔が大切

平成24年生活科卒　秋　田　いずみ

私は現在、坂本アレルギー呼吸器科医院に事務員として勤務しています。外来診療以外にも往診や、最近では珍しい院内処方も行っている病院です。

私は、受付業務、パソコン入力、レセプト点検等を担当しています。短大で学んだはずなのに、仕事をしてみると知らないことも多く、基礎から教えて頂きました。

この仕事をして特に大切だと感じるのは、「言葉遣い」と「笑顔」です。これはすぐに身につくものではありません。学生のうちにもっと日常で心がけておくべきだったと痛感しています。

病院には、高齢者から子どもまでたくさんの患者様が来院しますが、その方々に安心して、気持ちよく受診していただけるよう頑張っています。

患者様の「ありがとう」の言葉や笑顔に励まされ、やりがいのある、充実した毎日を送っています。

坂本アレルギー呼吸器科医院勤務

同窓会だより　短大・専門学校同窓会

入会式から早四ヵ月、活躍している回生委員の様子を紹介します。

○下山世衣良（生活科卒）

介護施設で栄養士兼調理員として働いています。わからないことだらけで日々勉強の毎日ですが、周りの方々に支えて頂きながら前向きに頑張っています。

12名の新回生委員

○唐牛友里（保育科卒）

地元浪岡で保育士として働いています。未熟で分からないことや悩むことばかりですが、子どもたちと一緒に笑顔で充実した日々を過ごしています。

○福井友梨奈（栄専校卒）

臨時学校栄養職員として五所川原中央小学校に採用されました。上司や先輩に電話応対から献立作成まで指導を頂きながら勉強の毎日です。

コンピュータ校の鎌田ゆかりさん、渋谷慎さんも頑張ってくれています。

（庶務係）

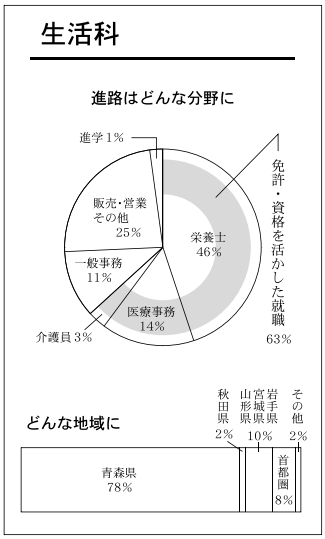
進路の状況

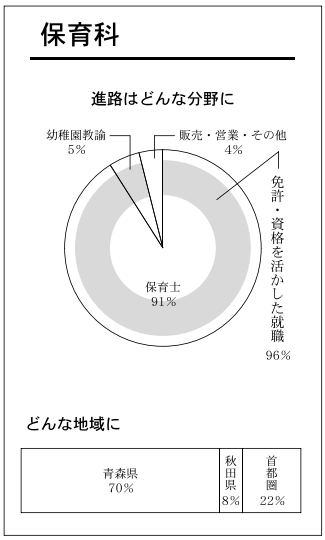
平成24年度の進路決定率は98％と昨年並みの好結果となりました。科別では生活科97％、保育科100％といずれも高い水準です。

学生自身がキャリア設計に意欲的で、早くから就職活動に取り組んだ結果と思われます。

その中で本学で取得した免許・資格を活かして就職した学生は、生活科63％、保育科96％となりました。

卒業生に刺激されたのでしょうか、今年の2年生も、現在、会社説明会に参加したり、受験するなど順調な滑り出しを見せています。また1年生も検定試験に積極的に挑戦している様子がうかがわれ、早い段階からキャリア形成に向けて頑張っているようです。





☆父母会開かれる

6月22日に2年生父母会が開かれました。115名の父母の方々が、卒業までの過ごし方や、昨年度卒業生の進路状況、就職内定までの流れなどに、熱心に聞き入っていました。個人面談も行われ、学生の日頃の様子や勉学への取り組みなどについて、父母の方々と親しく話し合いが行われました。

生活科の全体会

今春卒業生の進路報告書より

「東北大学病院に一般食の栄養士としての配属が決まり、大量の食数と日々格闘中です」。（生活科卒）

「子ども達といっぱいかかわりながら、先輩方を見てたくさん学んでいきたいと思います」。（保育科卒）

「全国各地の空港のグランドスタッフの方々と共に研修しています」。（生活科卒）

「毎日楽しく頑張っています。子ども達の成長を見ることができるのを楽しみにしています」。（保育科卒）

このような奮闘ぶりや抱負などが寄せられており、頼もしいかぎりです。

図書館だより

NHKの「週刊こどもニュース」のお父さん役で活躍した池上彰さんが著書『やさしい経済学』でデフレについて説明しています。

物が売れない状態になると、企業は何とか物を売りたいので商品の値段を下げます。そうすると商品が売れても利益は減ります。利益が減れば企業は社員の給料を減らします。給料が減れば消費者でもある社員は買い物を控えます。そこで商品を売るために企業はさらに値下げを行います。このような持続的な物価下落がデフレです。その結果、経済が縮んで不況になります。物価は下がりますが雇用も賃金も減少します。

それではデフレ不況を克服するためにはどうすれば良いのでしょうか。従来の経済学の関心はインフレ対策にのみあり誰も解決策を示す事が出来ませんでした。持続的な物価の上昇を意味するインフレは困った現象だと考えられてきたからです。

しかし、日本が戦後の荒廃から高度経済成長によって奇跡の復活をなした時はインフレでした。そうだとするとインフレを目標にした金融政策を行えばデフレ不況を克服出来るかもしれない。

皆さんはどのように考えますか。経済学って面白そうですね。

図書館長　畑山　聡

シリーズ ある日の授業

歌って弾ける先生を目指して

保育科1年「表現(1)・A」　担当　西谷紀久子

子どもは歌や手遊びが大好き！保育園で小さい子が回らぬ舌で体を揺らしながら歌っているのを見ると、可愛くて頬がゆるんでしまいます。驚くことに、子どもは歌を耳から聞いて、あっという間に覚えてしまいます。大人のように楽譜や歌詞を見て覚えるわけではないので、頼りになるのは保育者の模範唱や、曲のイメージを伝えるお話と伴奏です。

そこで「表現」の授業では、まず学生が子どもの歌に親しめるように季節の歌・身近な動植物の歌・生活の歌などのレパートリーを広げています。その中で、子どもの目を引きつける身体表現を交えたり、簡易楽器を加えたりしてリズム感のいい表現力を身につけます。はじめは手遊びに照れていた学生も、すぐに子どもになりきるので、さすが保育科志望と感心します。

鍵盤楽器による弾き歌いをベースに、前期は自らの声を鍛える発声練習、後期は一人ずつ先生になって模擬保育もします。学ぶ内容が多いのでいつもチャイムぎりぎりですが、学生の態度は意欲的で、私の疲れもとびます。

第16回学園総合体育大会

5月22日に『青春～熱き思いを大地に刻め～』をスローガンに掲げ、女子大・短大・栄専校・コンピュータ校4校合同の体育大会が柴田学園総合グラウンドで行われました。

今年の体育大会は晴天に恵まれ、眩しいくらいの日差しの中、計画した全競技を行うことができました。

競技部門では、実行委員として昨年の反省点を踏まえた運営を心掛けました。障害物競走では、障害の数を2つ減らしたほか、二人三脚リレーでは、3チームずつ3回に分けたタイムレースを取り入れました。

その甲斐あってか、競技運営をよりスムーズに行うことができ、障害物競走では小麦粉で顔が真っ白になったり、二人三脚リレーではゴール直前の大逆転があったりと大いに盛り上がりました。

左側が選手宣誓する板垣さん

応援部門では、各チームが練習時間を見つけ頑張っていた成果が十分現れていたと思います。短大、女子大、専門学校のオリジナリティーが出て見応えがありました。

こうして無事に大成功に終わることができた今、サポートしてくださった先生方や協力してくださった学生の皆さんに感謝の気持ちで一杯です。私自身としても、選手宣誓という貴重な体験ができ、大変思い出に残る体育大会となりました。

体育部長
生活科2年　板垣優香

保育科2年　山の家研修

保育科2年の山の家研修がA班6月6日・7日、B班6月7日・8日のそれぞれ二日間に渡って山の家ヴィラ柴田で実施されました。

行きのバスでは保育園の親子遠足を想定して、島内先生が保育士、私たちが子どもになって、なぞなぞや「バスごっこの歌」で盛り上がり、あっという間に到着しました。

山の家では木々や植物を使用して箸や置物を作り、自然の香りが漂う個性豊かな製作物が完成しました。

そして夕食作り・レクリエーション・朝食作り等はすべて各班が役割分担をして行いました。私達の班は朝食作りでしたが、睡眠不足にもかかわらず、協力し合ってロールサンドやスープを完成させ、好評でした。自然の豊かさを身近に感じながら仲間の明るさや優しさに触れて楽しんだ二日間は新鮮でした。みんなで協力し合うことの大切さも学べました。今後の学生生活を仲間と共に大切に過ごしていきたいと思います。

山の家の前で。右側が小田切さん

保育科2年　小田切智美

ピクニック

6月20日、つがる地球村森田で全学のピクニックが行われました。前日の雨で天候が気になりましたが、当日は雨もあがりピクニックを無事迎えることができました。

地球村に到着すると、早速テニスやバスケットボールで体を動かしたり、垂直型スライダーなどのアスレチックで遊んだりと大はしゃぎ。体を動かした後は、大きな広場で仲間とお弁当を囲みながらおしゃべりをしたりと、みんな思い思いに楽しんでいました。

自然の中で一日をゆっくりと過ごすことができ、充実した日となりました。協力していただいた代議員の皆さんありがとうございました。

右端が木村さん

ピクニック実行委員長
保育科2年　木村悠奈

学園祭準備スタート

今年の学園祭は短大、栄専校、コンピュータ校合同で10月19日、20日に行われます。

6月19日の実行委員会で統一テーマが決定しました。心に残るような学園祭にしたいと思いますのでご協力よろしくお願いします。

学園祭実行委員長
生活科2年　原子明日香

○統一テーマ
飛翔
～90年の瞬間をこえて～

生活科1年　石岡美里

短大周辺のおすすめスポット

上土手町の十月桜

弘前は何と言っても桜が有名です。特に弘前公園の桜は全国的に知られています。

弘前城の桜よりも少し早く見頃を迎える八重桜、別名十月桜も四月末には美しい花を咲かせます。この花は本学から近い上土手町の通りに並木をつくり、公園の桜よりも早く咲き揃います。ソメイヨシノの開花が遅れた今年、この桜が一足早く街並みに彩りを添えてくれました。十月桜の由来は十月にもう一度花を咲かせるところから来ています。

桜のほかにもまだまだ沢山の魅力が弘前にはあります。この美しい街について自分の足で歩き、もっと深く知りたいと思います。

保育科2年　木村琴栄

編集後記

今年は大雪と寒さのため、桜やりんご・校庭の梅の花が遅く、やきもきしました。今は初夏を彩る花々が咲いて華やいでいます。

本号は今村吉彦新学長を迎え、90周年の行事の他に、活気に満ちた学生生活のようすと卒業生の活躍をお伝えします。

寄稿して下さった在学生、卒業生の皆さん、ありがとうございました。（学生課　工藤）